



あなたと守りたい
くらし・自然・平和

日本共産党



かまい 敏行

●伊賀市小田町生まれ、39歳。西小学校、崇廣中学校、上野商業高校、皇學館大学社会福祉学部を卒業。皇學館大学大学院で日本と世界の人権発達の歴史を研究。●2009年から2014年まで日本民主青年同盟県委員長として青年の暮らし・雇用を守る運動に取り組む。●2017年から2020年10月まで市内の障がい者施設でパート勤務。11月の市長選挙に立候補。現在、党市副委員長●平野東町在住。趣味はマラソン、カラオケなど。電話 090-5100-5442 メール rough-diamond-toshi2009@docomo.ne.jp

国も市も動かして

コロナ危機から いのちとくらし 守ります

新型コロナ 緊急対策

感染拡大をとめる…検査体制の拡充と医療・介護の支援

- 発熱・咳などの症状があればコロナ検査を
- 医療・介護・保育・教育等で働く人に、定期的な PCR 検査を

自治体が独自に検査

寝屋川市	介護施設従事者約 800 人に定期的に PCR 検査実施 約 7100 万円
新発田市	保育園、小中学校等の職員、民生委員、高齢者等の PCR 検査全額市が負担
鈴鹿市	私立保育園・私立幼稚園・認定こども園の職員対象に自費による PCR 検査費用を補助

くらしを応援する…くらしと営業の補償と支援

- 〈伊賀市事業継続応援給付金〉の拡充を（交付用件の緩和 給付金の増額）
申請期間3月31日迄延長が実現しました！
- すべての事業を対象に減収に見合った補償を

使うなら今でしょ！

- コロナ感染症対策基金（約4億7千万円）
- 国からの交付金（約1億4千万円）
- 財政調整基金（貯金）（約48億円）

市へコロナ対策
申入れ 4回



- PCR 検査の充実
- 医療機関や医療従事者への財政支援
- 軽症者や濃厚接触者の受け入れ施設の確保
- 雇用と営業を守る新たな追加施策
- 生活困窮者への支援、相談事業の拡充

困っているみなさんの声が市政を動かします

○無症状の方が知らない間にうつしていることが不安。市民への PCR 検査をお願いします（持病がある女性）

○国の持続化給付金をもらったけれど、1回だけでは、全く足りない（小売業）

○感染しない、させないために休日も出かけず家にいます（保育士）

○ひとり暮らしやから、自宅療養だけでは困る。ちゃんと入院させてほしい（高齢女性）

○伊賀市の正確な情報を知らせてほしい
○ワクチン接種を早くしてほしい